

「この車がなければあらゆる仕事が止まる」 “大型商用車”に特化した完成車両メーカー

～トヨタグループ内最小規模工場ながら、ピカッと光る存在感～



岐阜車体工業 株式会社

代表取締役社長

足立 利光氏

- 住 所： 各務原市鷺沼三ツ池町6-455
- T E L： 058-384-2161(代)
- U R L： <https://www.gifubody.co.jp/>
- 事業内容： 岐阜県内唯一のトヨタ系完成車両メーカーとして、トヨタの世界戦略車『ハイエース』、『コースター』、救急車等の大型商用車を生産
- 従業員数： 2,654人(2025年3月)

■ 世界中で使われる大型商用車 ハイエースやコースターを生産

聞き手：「トヨタのハイエース」というと、“世界を代表する商用車”というイメージがありますが、まずは事業内容について詳しくお聞かせください。

足立社長：トヨタグループの商用車の中でも、特に大型車両の生産を担っています。商用車は仕事をする人のための大事なインフラであり、さらに言えば“新興国のエントリーカー”と言えるかもしれません。車をまだ個人では所有できないような状況の中、産業が起きて従業員の通勤バスとして使われるのがハイエースやコースターです。以前、ケニアで「ハイエースは本当に良い車だ」と現地の方から言われたこともあります。

商用車はお客一人ひとりの使い方に沿った商品を提供するため、同じ車種でもボディーやルーフの長さ、高さ等の種類がとて多くなります。多品種少量を限れたスペースで生産する。そこに難しさがあると思っています。

聞き手：歴史についてはいかがでしょうか。1940年の創業で、いろいろな転機もあったことと思います。

足立社長：実は、今日が85周年の当日なんです。(注：インタビューは10月1日に行われました)もともと軍用トラックの製造からスタートして、ずっとトラックのみの「一直生産」、つまり日勤のみの生産体制でしたが、1999年にトラック製造は日野

自動車(株)に集約され、代わりにハイエースの生産を請け負うことになりました。そこから二直、つまり昼夜勤務の体制になり生産量も一気に増えましたから、これがやはり一番の転機だだと思います。それまではシートやプレス、溶接の部品をトヨタに供給する部品サプライヤーでもあったのが、そこからは車両生産を主とすることになりました。

ちなみに現在、ハイエースの生産はトヨタ車体(株) いなべ工場でも手掛けていますが、スーパーロングの様な大型の車両は当社の担当となっています。

■ QCサークルが全国大会で最優秀賞に

聞き手：QCサークルの活動も活発そうですね。

足立社長：今年はQCサークルの本部長賞東海支部選抜大会で最優秀賞をいただき、全国への切符を手に入れました。また昨年は初の全日本選抜QCサークル大会出場ながら、最優秀賞をもらうことができました。これは故・星野鉄夫顧問の頃からの悲願と言えるもので、当時からずっと尽力してきたリーダーがダルマに目を入れ、「お墓にも報告してきました」というのを聞いて、私も嬉しかったですね。

1月に着任して一番強く感じたのは、「カイゼン」を楽しんでいるな、ということです。私が工場内を回っていると、「改善してうまくいくようになったことがあるから見てほしい」と呼ばれるんです。最近3Dプリンターを使って、ラインの担当者が自ら道具を考えて作ったりと工夫していて。それは本



【写真左】

QCサークル活動51年で、初めて東海支部を勝ち抜き、「第54回全日本選抜QCサークル大会」にて『最優秀賞』を受賞した「ぶらっしゅあっぱるサークル」

【写真右】

女性を中心となって考案、制作した塗装課の休憩所。仲間との時間を楽しめるカフェのような休憩所で充実したビジネスライフを送っています。

当に驚きましたね。組み立てラインの横には部品を運ぶAGV(無人搬送車)も走っていますが、全部に「〇〇号」と違う名前がついています。ラインの担当者が「マイ設備」として責任を持ってメンテナンスもしているのです。

星野顧問の頃から「小粒でもピカッと光る工場でありたい」という言葉は聞いていました。企業としては1工場ですし、トヨタグループの国内16工場で見ても、一番小さい規模です。それでも、どうやって種類が多く大きな車両を作ろうかと工夫している。「狭いからやらざるを得ない」とも言えるけれど、トヨタ生産方式=TPSの精神をしっかりと腹落ちして、それを楽しんで、面白がって、自分たちで率先してやっているマインドがすごいなと感じています。「面白がる」というのはとても大事なキーワードですね。

■ 女性目線を活かした「やさしい工程づくり」

聞き手: いわば現場が宝庫、なんですね。女性活躍という点はいかがでしょうか。

足立社長: 今年の方針の中で「やさしい工程づくり」を掲げています。女性だけでなく、だれでも働ける環境を作ろう、ということです。重筋作業廃止も含めて工程ごとにいろいろな基準を作っていますが、最終的には女性ならではの評価基準で判断しています。一つずつ改善するために、難しい、重い、臭いといった現状をきちんと評価しているところですよ。今まで「これがスタンダードだ」と感じていたことも、見る人が変わると「ここがイヤだ」という意見が出てきます。1980年代に提唱された、誰でも使えるユニバーサルデザインの考え方に近いかもしれませんね。

ほかにも、車両の仕上げを現地で言うノックダウン=KDのために部品を出荷する部門がありますが、5月に建屋を新築したため、そこでは車椅子でも無理なく働けるような作業環境を整えようとしています。生産ラインではタクトタイム(一定の数量の製品を作る基準時間)の制約で連続生産をしていますが、KDなら在庫の持ち方を工夫し、短時間勤務等の柔軟な働き方が可能です。将来的には、特別支援学校の職場体験を受け入れるような貢献もできると良いですね。

聞き手: 人材育成についてはいかがでしょうか。

足立社長: 社内の若手との座談会をやっていますが、その時には「商用車って地味かもしれないけれど、世界の150以上の国で使われている“世のため人のための車”だよ」と話しています。私たちが車を納めるのはトヨタだけですが、本当のお客様はその先で実際に使ってくださいの方々です。社会に貢献しているすごい製品を作っているんだよ、ということを伝えています。

以前、講演で「シンクロの小谷 実可子さんが、子どもにスイミングを教える時に大切にしているのは“褒めどころを逃さないこと”」という話を聞いて、それがグサッと刺さりまして。確かに小さなことを逃さず褒める、叱るにはずっと見ていないとできないことです。コミュニケーションのベースだと感じています。メンバーには、「1勝9敗で良いからチャレンジしよう」とも伝えています。ダメだと思ったら戻ればいいし、積み重ねで2勝、3勝と増やしていけばいい。もし上司が指示したこと「なんで?」と思うのなら、腹落ちできるまでとことん聞いてほしい、ということも言っています。

聞き手: では最後に、休日の過ごし方についても教えてください。

足立社長: 趣味はサッカー観戦です。もともと祖父母が磐田市の出身で、Jリーグが始まるとよく活字で見かけるようになり、それからジュビロ磐田を応援しています。今はFC岐阜の試合もよく見えています。どちらのチームも、街の皆さんが「おらがまち」で応援しているのが良いですね。アウェーの試合であれば、そこまで出かけて美味しいものを食べるのも楽しみです。最近も、夏休み等を利用して松本や香川に行きましたよ。

聞き手: 本日は貴重なお話をありがとうございました。

聞き手 (一社)岐阜県経営者協会 広報部会委員

東海ダイカスト工業(株)

取締役営業部長 田中 豊

経協ニュース

第2回 人事・労務セミナーを開催

9月18日(木)グランヴェール岐山にて、年間4回計画している第2回目として開催しました。WEBからも参加可能な形式で行い、52社より約80名にご参加いただきました。

講師の河村 俊樹氏(河村労務研究所 社会保険労務士)より、「守りの就業規則」をテーマに解説いただきました。

次回は11月13日(木)に開催いたします。



日本総合ビジネス専門学校 共催 「学内ガイダンス」を開催

9月30日(火)日本総合ビジネス専門学校と共催にて開催し、企業8社・学生20名にご参加いただきました。

本ガイダンスは2027年3月卒業予定者を対象に、ローテーションで全社と交流いただき、早い段階から県内企業について情報を得ることに加え、人事担当者との会話の中で社会人とのコミュニケーション能力の向上を目的に実施しております。

参加した学生からは、「今まで知らなかった地元企業について知ることができた」という感想がありました。



第1回 人事・労務に関する無料相談会を開催

10月8日(水)岐阜商工会議所 会議室にて、当協会の新たな取り組みである「第1回 人事・労務に関する無料相談会」を開催しました。

本相談会は「賃金体系・水準」、「労働紛争」、「労働時間、休日・休暇」、「就業管理・ハラスメント」、「労働規則、規定」、「教育・賞罰」など何でもご相談いただけます。

次回は11月5日(水)岐阜商工会議所 会議室にて開催予定です。人事労務に関するご相談がある企業様はぜひご予約をお待ちしております。

※当協会HP「現在募集中のセミナー」よりご予約がいただけます。

(右側 QRコードよりアクセス可。)

【今後の開催スケジュール】

第2回	11 / 5 (水)
第3回	12 / 3 (水)
第4回	1 / 14 (水)
第5回	2 / 4 (水)
第6回	3 / 11 (水)

「現在募集中のセミナー」
はこちら



大阪万博 視察会を開催 **各務原支部**

9月24日(水)大阪万博への視察会を開催し、14社(30名)の方にご参加いただきました。

本視察会は今後の事業展開や、地域の発展に資する新たな示唆を得ることを目的に開催しました。

現地では、“交通・モビリティ、環境・エネルギー、ものづくり・まちづくり、食と農”等をテーマとした「未来の都市」と、“いのち輝く地球を未来に繋ぐ”をコンセプトとした「三菱未来館」の2つのパビリオンを視察し、先進的な展示や取組について学びを得ました。



ソフトボール大会を開催 **飛驒支部**

9月28日(日)久々野総合運動公園グラウンドにて開催し、5社・5チームにご参加いただきました。

コロナ禍で6年ぶりの開催となり、各チームともに和やかな雰囲気の中で交流を深めながらも、試合では白熱した真剣勝負が繰り広げられ、大いに盛り上がりました。

最終的な結果は以下の通りです。入賞されたチームには、記念品および賞品が贈呈されました。

優 勝：株式会社ハウテック

準優勝：高山信用金庫

第3位：平和メディク株式会社



離職防止の組織づくりセミナーを開催 **中濃支部**

10月3日(金)アピセ・関にて開催し、中濃支部の会員企業より10社(13名)にご参加いただきました。

合同会社ひとのわ 代表社員 井坂 泰成氏を講師に迎え、データを基にした年代別での離職理由、人材定着のポイント等を解説していただきました。

またワークを通じて自社の課題や指導方法等を活発に意見交換していただきました。

受講生からは「今後の組織運営や若手社員への接し方が勉強になった」などの感想をいただきました。



第50回 中津川トップセミナーを開催 中津川支部

10月9日(木)・10日(金) 中津川市のパルティールAI・パルティールPlusにて開催しました。

中津川支部主管により、節目となる第50回を迎え、企業64名にご参加いただきました。

橋口 正哉 中津川支部長、林 敬治 会長のご挨拶の後、経済アナリストの森永 康平氏より「日本経済の現状と展望」と題してご講演いただきました。

講演後には懇親会を開催し、支部の垣根を越えた交流を図りました。また翌日には記念ゴルフコンペを開催し、さらに親睦を深めました。



橋口 正哉 中津川支部長 挨拶



鏡開き

管理・監督者養成講座 実行委員会を開催 飛騨支部

10月14日(火) 高山商工会議所にて開催し、飛騨支部 管理・監督者養成講座 実行委員9名にご参加いただきました。

会議では配布資料の確認後、各資料(名簿、事前アンケート結果、キャリアビジョン記入用紙など)の説明と差替え案内がありました。

またプログラム全体の流れ、担当者ごとの役割や注意点も共有され、2日間の準備に向けた最終確認を行いました。

飛騨支部 管理・監督者養成講座は、10月22日(水)・23日(木)に開催いたします。

～会員の皆さま～ 新規会員を募っています。

当協会では、より多くの県内経営者の皆様に岐阜県経営者協会をご利用いただきたく、新規会員企業を募っています。当協会の趣旨にご賛同いただける経営者の方がいらっしゃいましたら、事務局員がご説明にまいりますので、何卒ご紹介くださいますようお願いいたします。

岐阜経協の活動は、当協会ホームページ(<https://gifukeikyo.org>)でもご覧いただけます。

人と経営 11月号

(第74巻11号通巻578号) (2025年11月1日発行)

■編集発行人

広報部会長 堀 部 友 里

■発行所

一般社団法人 岐阜県経営者協会

〒500-8833 岐阜市神田町2-2 TEL 058-266-1151 URL <https://gifukeikyo.org/>

■印刷・製本

株式会社印刷工房 〒501-0597 岐阜県揖斐郡大野町下磯750-1 TEL 0585-36-0201